

「未帰宅者捜索模擬訓練」を実施しました！

去る10月8日に安方商店街にて、「未帰宅者捜索模擬訓練」と題した見守り・声かけ訓練を実施しました。少雨のなかではありましたが、訓練には蒲田西地区の民生委員児童委員協議会の方が15人、東京工科大学の准教授と学生さん4人の合計20人のご参加をいただきました。なお声掛けの対象となる認知症の方については地域のグループホームの施設長、ケアマネージャー、デイサービスの管理者、小規模多機能型居宅介護のケアマネージャーの方々に演じて頂き、認知症の方とのコミュニケーションの仕方について多くの助言も

捜索模擬訓練の風景



いただきました。訓練後の講義編では、池上警察署生活安全課の係長からもご講和頂きました。同署では一日に平均して毎日約10人の高齢者を保護しているとの話もあり、いかに多くの事例があることが地域のみなさんと共有することもできました。主催する私たちにとっても学びの多い訓練になったと思います。また地域でこうした機会が定期的に行われるようにしていかなければならないと決意を新たにしています。

認知症役の方からのアドバイス 今回は認知症の方の行動心理症状としての「徘徊（はいかい）」という語を使用せずに、他県での事例から「未帰宅者」という語を使用しました。

「徘徊（はいかい）」は辞典で調べると、「何の目的もなく、たださまよい歩くこと」とあり、これは認知症の方の行動についての理解を妨げることになるとの考え方から使われなくなってきています。

今回の「未帰宅者」という言葉がより広く使われるようになれば、認知症の方への理解が深まり、認知症の方がより地域で暮らしやすくなることが期待できるでしょう。

次年度以降は民生委員児童委員の方だけでなく、より多くの地域のみなさまがご参加いただけるような「未帰宅者捜索模擬訓練」を開催したいと考えています。

前号では「合理的配慮」について説明しました。認知症の方についても「合理的配慮」が必要です。これからは「認知症の人をどうにかする」のではなく、周りの地域社会が「認知症の方たちと共に地域で暮らしていくにはどうしたらよいか、何をどう変えていかなければならないのか」という発想に立たなければなりません。認知症の方「未帰宅者」にさせないための方法としては「認知症の方が外に出られないようにする」のではなく、「一人で出歩いてしまっても未帰宅者にさせないような地域社会の見守り体制をつくる」という方法をみなさんと、他人ごとではなく自分自身のこととして考えていくことが、これからの地域社会に求められてきます。

私たち地域包括支援センターは地域のみなさんを支援して、よりよい地域社会がつくっていけるよう、これからも尽力していく考えです。

(次ページへ)

文末ながら今回の訓練の開催にあたっては安方商店街会長、安方北町会会長からもあたたかなご協力とご理解を頂きました。また講義編ではグランダ池上南の食堂をお貸しいただきました。地域のみなさまのご理解とご協力があったからこそ、今回の訓練を開催できました。この場を借りて厚く厚く御礼申し上げます。

認知症サポーター・ステップアップ講座とは？

今回の「未帰宅者捜索模擬訓練」についても認知症サポーター・ステップアップ講座という位置づけでの開催としていますが、認知症サポーターステップアップ講座とは、どのようなものか、認知症サポーター養成講座とはどう違うのかをここで説明したいと思います。地域では「認知症サポーター養成講座」を随時開催しており、多くの認知症サポーターが各地で誕生しています。こうした認知症サポーターのみなさんが、より地域で認知症の方やその家族を支援し、見守れるようにするために必要なことを学んで頂く機会として行われるのが、「認知症サポーター・ステップアップ講座」（以下ステップアップ講座）です。認知症サポーター養成講座のように決められた講義内容やテキストはなく、開催する側がそのカリキュラムを作成したうえで行われるため、多種多様なステップアップ講座が存在しています。大田区では主に基本圏域ごと（蒲田、大森、調布、羽田糶谷）で認知症地域支援推進員たちが中心になって開催されています。蒲田地域では過去に2回のステップアップ講座を開催しました。内容としては認知症当事者の方にご登壇頂いての講話、それをもとにしたグループ討議、事例検討会などを盛り込みました。サポーター養成講座を受けた方々には、「もっと地域で具体的に認知症の人を支援したい。」「地域で自分にできることを模索したい」と思われる方もいらっしゃるでしょう。そうした皆様のためのステップアップ講座です。今はまだ開催回数も少なく、受講者のなかから実際に「チームオレンジ」として活動できている地域の方は多いとは言えません。認知症の方たちが住み慣れた地域で、その人らしく暮らしていくためには、その支援者としてより多くのチームオレンジが形成される必要があります。蒲田地域では年明けにステップアップ講座を開催予定です。（大田区報にも掲載予定）過去に認知症サポーター養成講座を受講された方で、関心のある方はぜひ奮ってご参加下さい。（開催日時、申し込み方法は下記ご参照下さい。）

「認知症サポーター・ステップアップ講座」を開催します。

認知症について当事者のお話を聞き、グループワークを行う実践的な講座です。

対象 : 認知症サポーター養成講座を受講済みの方
日時 : 1月30日（木曜日）午後2時から4時
会場 : 蒲田地域庁舎5階大会議室にて
定員 : 抽選で30名
申込方法 : 12月1日から28日に電子申請（大田区のホームページを参照ください）
問合先 : 蒲田地域福祉課多機関連携調整担当 電話：03-5713-3126

FAX：03-5713-1509

